

当科にて外科的矯正治療を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学千葉歯科医療センター矯正歯科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願い致します。

1. 研究課題名

骨格性開咬における外科的矯正治療後の安定性

2. 研究目的

上下の前歯がかみあわない状態（開咬症）で、特に上下のあごの骨の垂直的な位置の不正を伴う場合にあごの手術を伴う矯正治療（外科的矯正治療）を行なっています。この治療には、前歯や奥歯の上下的な位置、あごの骨の上下的なズレおよび舌の癖など、多くの要因を考慮する必要があります。治療後のよい状態を長く安定させるために、さまざまな研究が行われてきておりますが、この研究では特に上下的なあごの骨の型によって安定性にどのような違いがあるのかを検討します。

3. 研究方法

2000年1月から2020年1月までに当科にて骨格性開咬の診断の下、外科的矯正治療を終えられ2年以上経過した患者様を対象とさせていただきます。この研究に使用する資料は患者様のこれまでの治療で撮影したレントゲン写真、顔・歯の写真、口腔模型です。治療前のレントゲン写真から各歯と骨格の位置関係を計測し、それらの計測値を骨格パターンごとに比較検討します。本研究は2021年3月31日までを研究期間として予定しております。

4. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

これまでの治療の中で使用した患者様の資料を使用いたしますので、当該研究によって患者様に何らかの負担が生じることはなく、今後の治療に対して何らかのリスクや不利益・利益も生じません。また、本研究へのご協力に対して謝金はございません。

5. 個人情報等の取扱いについて

当該研究での個人情報の取り扱いについては連結対応表を作ることで匿名化をいたします。また、その他の個人情報（顔写真、お名前、患者様番号）については、適切な処理（目隠し）を行い、学会発表や論文で用いることはございますが、一般公開は行いません。

対応表やその他の個人情報は情報管理責任者が鍵のかかる棚に責任を持って保管終了まで管理致します。

6. 研究参加に関する事項

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡し致しますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

7. 資料・情報の保管及び廃棄の方法

本研究に使用した情報等については5年間鍵のかかる棚に情報管理責任者の管理の下、保管し、その後に廃棄いたします。

8. 研究の情報公開について

本研究の情報公開は、日本矯正歯科学会にて発表・論文発表として行う予定です。

9. 倫理審査委員会の承認

本研究は東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

10.利益相反

本研究に関して利益相反はございません。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

東京歯科大学歯科矯正学講座

研究者 飯島由貴

連絡先 〒261-8502 千葉県千葉市美浜区真砂1丁目2-2

東京歯科大学千葉歯科医療センター 矯正歯科

(電話) 043-270-3903

研究責任者(情報管理責任者) 立木千恵